



熱気と活気を体感する祭旅

ハレの街にて再発見

その日、訪れたまちは、いつもと空気が違います。
 家々が、ひとが、誇らしげな嬉しさと、はなやぎに包まれています。
 昔のワンパク坊主たちに戻る顔。客迎えにあわただしい台所。
 そして、このまちで積み重なってきた、おごそかで特別な時間。
 はじめてなのに懐かしい。高揚感を共有したくなるシーンがあります。

子ども達にも祭りの思い出を!

祭りになると本当に血が騒ぎますね。祭りがもう、好きで好きで。50年以上、入れ込んでいます。やっぱり子どもの頃の体験が、私を祭り好きにさせたのでしょうか。今の子ども達にも、祭りの楽しい思い出を作ってあげたいと思います。



新発田市まつり文化連絡協議会 会長
 石津 章三さん



中条まつり

五穀豊穡を祈って行われる熊野若宮神社の祭礼。約1000人が参加する民謡流し、御輿、台輪、山車、子ども達のマーチングバンド、板額太鼓などが行われます。200軒も立ち並び、にぎわう露店をめぐるのも、お祭りのお楽しみ。

- ☎0254-43-3624
中条町商会
- 本町通り周辺
きたえちごMAP》②
- 9月上旬



月岡温泉 月の夏まつり

森林浴にもびつたりのロケーションの月岡温泉。「月の夏まつり」は、温泉の街らしく、湯美人みこしや芸妓民謡流し、子どもみこし、よさこいソーランなどの他、地元食材にこだわったお祭り御膳、ビアガーデンなどさまざまな催しが開催されます。

- ☎0254-32-3151 月岡温泉観光協会
- 月岡温泉街・月姫広場 きたえちごMAP》⑦
- 8月上旬



城下町新発田まつり

諏訪神社の祭礼と新発田藩の祭りが合わさった、厳肅な神事を重んじつつも威勢のよい祭り。祭りの華はなんとといっても、6つの町内が競って繰り出す台輪。約280年の歴史を誇り、絢爛豪華だけでなく、激しい“あおり”に耐える先人の匠の知恵がなされています。台輪が各町内へ帰ると、そろそろ秋の気配を感じる新発田っ子たちです。

- ☎0254-26-6789
(財)新発田市まちづくり振興公社
- 諏訪神社及びその周辺 きたえちごMAP》②
- 8月12日～29日

散策物語 その6 (8月29日) ～ふるさとしばた 芸術とまつりの旅～

新発田の総鎮守“おすわ様”から、藩の下級武士の住まいだった足軽長屋へ。落谷虹児記念館で大正・昭和の抒情の世界にひたつた後は、見逃せない勇壮な帰り台輪を見物。そこかしこに、新発田の文化芸術が垣間見えるコース。

